

授業科目名：経営史	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：中瀬 哲史 担当形態：単独																
科 目	教科に関する科目（高等学校 地理歴史）																		
施行規則に定める 科目区分	・日本史																		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>企業経営は、今日ほど社会的な存在であることはなく、多くの困難にも直面している。そうした環境の中、企業はいかにして事業継続を図るのかを志向している。経営史とは、そうした企業の事業継続性をいかにして高めることができるのかに対して、歴史的な視点から回答しようとするものである。具体的には、現在の企業経営が有する課題を把握し、なぜそうした課題を抱えることになったのか、その起源を追求することで、事業継続性を高めることを目指すものである。</p> <p>そこで、本授業では、以上のように、企業の事業継続性を高めることにつながるよう、今日の企業経営の抱える課題を具体的に示し、そこに至るまでのストーリーを講義する。受講生は、本授業を受講することで、自らが興味を抱く企業、企業経営についても、上述した歴史的な観点を踏まえて深く理解することができるようになろう。</p>																			
<p>授業の概要</p> <p>まず、企業経営の歴史である経営史にはどのような課題があるのかを検討する。次に、産業革命期から現在に至るまでの、とくに生産システムの歴史的な流れを検討する。また、可能であれば、実際に企業経営に携わっていた方に講演いただき、企業経営の実際に触れる機会を設けることを目指す。</p>																			
<p>授業計画</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回：本講義のガイダンス</td> <td>第9回：日本の柔軟なシステムの発展と停滞</td> </tr> <tr> <td>第2回：経営史学の課題と哲学</td> <td>第10回：現代日本の企業経営の経験</td> </tr> <tr> <td>第3回：大英帝国とイギリス産業革命</td> <td>第11回：中国等新興国での分散型生産システムの背景</td> </tr> <tr> <td>第4回：イギリス産業革命の展開</td> <td>第12回：中国等新興国の分散型生産システムの課題</td> </tr> <tr> <td>第5回：現代日本の企業経営の経験</td> <td>第13回：これからの生産システムのあり方について</td> </tr> <tr> <td>第6回：アメリカ大量生産大量販売体制の要因</td> <td>第14回：レポート発表会</td> </tr> <tr> <td>第7回：アメリカ大量生産大量販売体制構築と発展</td> <td>第15回：まとめ</td> </tr> <tr> <td>第8回：オイルショックと日本の柔軟なシステム</td> <td>定期試験</td> </tr> </table>				第1回：本講義のガイダンス	第9回：日本の柔軟なシステムの発展と停滞	第2回：経営史学の課題と哲学	第10回：現代日本の企業経営の経験	第3回：大英帝国とイギリス産業革命	第11回：中国等新興国での分散型生産システムの背景	第4回：イギリス産業革命の展開	第12回：中国等新興国の分散型生産システムの課題	第5回：現代日本の企業経営の経験	第13回：これからの生産システムのあり方について	第6回：アメリカ大量生産大量販売体制の要因	第14回：レポート発表会	第7回：アメリカ大量生産大量販売体制構築と発展	第15回：まとめ	第8回：オイルショックと日本の柔軟なシステム	定期試験
第1回：本講義のガイダンス	第9回：日本の柔軟なシステムの発展と停滞																		
第2回：経営史学の課題と哲学	第10回：現代日本の企業経営の経験																		
第3回：大英帝国とイギリス産業革命	第11回：中国等新興国での分散型生産システムの背景																		
第4回：イギリス産業革命の展開	第12回：中国等新興国の分散型生産システムの課題																		
第5回：現代日本の企業経営の経験	第13回：これからの生産システムのあり方について																		
第6回：アメリカ大量生産大量販売体制の要因	第14回：レポート発表会																		
第7回：アメリカ大量生産大量販売体制構築と発展	第15回：まとめ																		
第8回：オイルショックと日本の柔軟なシステム	定期試験																		
<p>テキスト</p> <p>中瀬哲史（2016）『エッセンシャル経営史』中央経済社。</p>																			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>E・H・カー（1962）『歴史とは何か』岩波新書、溪内謙（1995）『現代史を学ぶ』岩波新書、大河内暁男（1991）『経営史講義』東京大学出版会、宮本又郎・阿部武司・宇田川勝・沢井実・橋川武郎（2007）『日本経営史 新装版』有斐閣、宮本又郎・岡部桂史・平野恭平（2014）『1からの経営史』碩学舎など。また、講義中にも適宜指示する。</p>																			
<p>学生に対する評価</p> <p>レポート点、学期末試験から総合的に評価する。</p>																			